石川県七尾美術館だより

平成21年10月１日発行
編集・発行　石川県七尾美術館

第59号（秋号）

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2009イタリア・ボローニャ国際絵画原画展

特別展示『くるみわり人形』
ロベルト・インノチェンティ（イタリア）

展覧会紹介

「2009イタリア・ボローニャ国際絵画原画展」

平成21年10月2日（金）～12月31日（日）

休館日については裏表紙をご覧ください

11月6日（金）～12月6日（日）【会期中無休】

◇第一・第二・第三展示室

毎年春にイタリア北部の古都ボローニャ市では、世界で唯一、児童図書を専門に扱う見本市「ボローニャ・ブックフェア」が開催されます。一九六四年に始まり、その三年後からは「絵本原画コンクール」が行われています。

今年で四十三回目を迎えるこのコンクールは、世界最大規模を誇る子どもの本のための原画コンクールとして知られています。五枚一組のイラストを審査するもので、十六歳以上の誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門としても注目されています。

世界中から集まった応募作品は、職業も国籍も異なるメンバーで構成される国際審査団によって審査されます。入選以外に特別な賞などは設けられず、全ての作品は平等に扱われます。今年の審査員は、エドゥアルド・フィリペ(ILLUSTRARTE展主催者、ポルトガル)、ベアトリーチェ・マジーニ(RCS Libri出版、イタリア)、イ・ウォンボク(徳成女子大学教授・イラストレーター、韓国)、ジョン・A・ロウ(イラストレーター、イギリス)の四人でした。彼らは作品の新しさやオリジナリティ、物語を語る力、作品世界の表現に適した技法であるかなどを検討し、世界六十一カ国、二七一四人の応募作品から日本人十八名を含む、二十カ国、八十一人の作品を選び出しました。

「空を飛んだら」
ホセ・マリア・レマ・デ・パブロ（スペイン）

「くつやのねこ」
今井彩乃（日本）

「ラッケフンディケセ　ロード」
ユリ・ミルデベルグ（エストニア）

「スイカを運びながら」
カンタン・グルバン（ベルギー）

本展覧会は、この絵本原画コンクールの入選作品を紹介するものです。日本では一九七八年に初めて紹介され、当館では一九九八年以降毎年開催し、今年で十二回目を迎えます。

油彩、水彩、アクリル、パステル、色鉛筆、版画、刺繍、CG、コラージュなど、様々な技法で制作された作品は、各国の豊かな文化的背景が感じられるものや、無国籍な雰囲気の漂うものと多様です。

確かに展示される作品は、子どもの本のために制作されたイラストではありますが、展覧会は決して子どものためだけのものではありません。作品に添えられるのは短いテキストのみですが、五枚のイラストがテキスト以上に多くを語り、子どもから大人まで、私たち全てを物語の世界へと誘ってくれるのです。想像力を働かせ、描かれた物語をくまなく読み取ってみてください。たくさんの物語が隠されています。

そして、いつの日か、きっとボローニャ展でご覧いただく原画と、本屋さんや図書館で出会う日がやってくるでしょう。是非その日を心待ちにしてください。

【特別展示】

今年の特別展示作家は「小さなノーベル賞」とも称される、国際アンデルセン賞において、二〇〇八年度の画家賞を受賞したイタリアのロベルト・インノチェンティです。

一九四〇年にフィレンツェ近郊に生まれ、第二次世界大戦後の不況の中、十三歳で鉄工所に就職します。十八歳のときローマのアニメ・スタジオに勤めたことがきっかけで本の装丁、アニメ、劇場用ポスター等で活躍し、イラストレーターとして注目されました。『シンデレラ』『ピノキオの冒険』『クリスマス・キャロル』『くるみわり人形』など児童文学の古典の挿絵を次々と発表する一方、自らの戦争体験を伝えるために『白バラはどこに』『エリカ　奇跡のいのち』などを手掛けてきました。テキストを深く読み込み、忠実に、もしくは、それ以上に物語る作品は、世界中で評価されています。これら代表作の貴重な原画と本展カタログ表紙のために描き下ろした原画、あわせて四十六点を紹介します。

【映像コーナー】

インノチェンティや審査員へのインタビューに加え、入選者が語った作品への思いなどを、ブックフェアの様子を交えて紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品の絵本やおすすめ絵本など約一〇〇冊を展示します。ご自由にご覧ください。

「赤い糸」
ローラ・アカヴィヴァ（フランス）

「ひとつ、そしてまたひとつ」
チョン・ジイェ（韓国）

「目をとじると」
クラウディア・ラヌッチ（イタリア）

ボローニャ展関連イベント

かんたん絵本を作ろうよ！【要観覧料】

いらなくなったポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

子どもコース

開催日 11／7（土）、8（日）、14（土）、15（日）21（土）、22（日）、28（土）、29（日）
12／5（土）、6（日）
時　間 14：00～16：00
対　象 4歳～小学生（未就学児は保護者同伴）
定　員 各日10名（要申込、先着順）
持ち物 不要なポスターなど
協　力 「絵本の会　もこもこ」のみなさん

大人コース

開催日 11／23（月・祝）、14：00～16：00
対　象 中学生以上
持ち物 不要なポスターなど
申込不要 直接会場へお越しください

ナイトミュージアム【要観覧料】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」「のびのびと絵本を読んであげたい」と思っていらっしゃるご家族のための時間です。

対　象 高校生以下の子どもを含む家族
定　員 10家族（要申込、先着順）
日　時 11／27（金）、18：00～20：00

「かんたん絵本を作ろうよ！（子どもコース）」「ナイトミュージアム」ともに、10／24（土）9：00より電話受付。

絵本アニメ上映会【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

【上映予定表】

	11：00～11：40	13：00～13：40
11／7（土）	スイミー	すてきな三にんぐみ
11／8（日）	（お休み）	ベッドのまわりはおばけがいっぱい
11／14（土）	かいじゅうたちのいるところ	ごきげんなライオン
11／21（土）	どろんこハリー	じてんしゃにのるひとまねこざる
11／28（土）	まほうつかいのノナばあさん	かもさんおとおり
12／5（土）	くまのコールテンくん	スイミー

～音楽と絵本のハーモニー～ ななお音絵巻2009【入場無料】

絵本のイラストと音楽を融合したコンサートです。

スクリーンに映し出すイラストに、地元の音楽愛好家のみなさんが、大正琴、弦楽アンサンブル、吹奏楽、ピアノ演奏などで絵本のイメージをふくらませて行きます。さらにマジックショーやジャグリングなどのパフォーマンスも加え、子どもから大人まで楽しめる、まるでページをめくって読み進む絵本のようなコンサートです。

開催日 11／22（日）・23（月・祝）
時　間 両日　10：30～16：00

おはなし劇場【要観覧料】

絵本の読み聞かせや、紙芝居、パネルシアターやエプロンシアターを上演し、皆さんを物語の世界へご招待します。

開催日 11／29（日）
時　間 11：00～11：45、13：00～13：45
協　力 「ボランティア　ぽっかぽか」のみなさん

今年もお楽しみ！ボローニャ展グッズ

図録やポストカードをはじめ、クリアファイル、一筆箋（6種類）を販売します。毎年人気のクリアファイル、今年はA4サイズとA5サイズの2種類があってどちらもカワイイ♪また、今年入選の作家の絵本や輸入絵本も販売します。

人気商品は展覧会期終了前に売り切れてしまいますのでお早めにどうぞ。

クリアファイル
（大300円・小200円）

一筆箋（400円）

ティールームより ボローニャ展期間限定メニュー

チョコペンで描いて楽しい♪食べておいしい♬お腹も満足なメニューです。セットメニューにはボローニャ展入選作家による、美術館オリジナルペーパーコースターが付いています。

●バンビーノ●
ホットケーキ
＋
チョコペン
＋
アイスクリーム
＋
選べるドリンク
¥550

●オマッジョ●
選べるパスタ
＋
サラダ
＋
バゲット
＋
ジェラート
¥880

オマッジョ

◇観覧料

	個人	団体
一般	700円	600円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「秋の所蔵品展」

10月2日（金）～25日（日）

◇第一展示室

～水墨画あれこれ～

「水墨画」は墨と水、そして筆によって表現される絵画の一ジャンルです。墨の濃淡や筆使いによって創造される白と黒の世界は、独特の深遠な美しさ、精神性を持ち併せており、多くの人々に愛好されています。

水墨画のおこりは中国唐時代といわれ、日本には鎌倉時代の禅宗伝来とともに伝わったとされます。そして室町時代に独自のジャンルとして確立され、その後現在に至るまで多くの画家たちによって数々の名作が制作されています。

本テーマでは当館所蔵品の中核である「池田コレクション」などより、近世から現代までに活躍した様々な画家の、水墨画や水墨を基調に淡彩を施した作品などを紹介します。

〈主な出品作品紹介〉

①「陳希夷睡図」　長谷川信春（等伯）

能登七尾出身で桃山時代に活躍した画家である長谷川等伯（一五三九～一六一〇）は、最高傑作として名高い「松林図屏風」など水墨画でも多くの名作を描きました。本図は等伯四十歳頃の制作といわれ、中国の仙人である陳希夷を謹直な筆使いで表しています。

②「筏流図」　近藤浩一路

山梨県出身で、水墨画に光の感覚を導入して独自の画風を展開した近藤浩一路（一八八四～一九六二）の作品です。激流の中にまるで木の葉のように舞う筏を描いており、画面を覆う水流と霞の柔らかくも力強い描写が印象的です。

◇第二展示室

～女性を表現する～

「女性」は芸術家たちにとって重要なモチーフで、その美しさや清らかさ、神秘性、妖艶さ、そして母性などは格好のテーマです。

従って女性の姿は、洋の東西を問わず太古の昔より様々な美術工芸に表現され、日本においても古くは土偶や埴輪まで遡り、そして仏画や仏像、絵巻物や肖像画、浮世絵、そして現在のあらゆる芸術に至るまで多岐にわたっています。

創造された女性たちは、時には生命や豊穣、信仰の対象として崇高な姿で、また時には悪魔的な美しさ、艶かしく官能的な姿で、時代を超えて人々を魅了し続けています。

本テーマでは、当館所蔵品より女性をテーマとした作品を絵画と彫刻を中心に紹介します。

〈主な出品作品紹介〉

①「椅子の女」　南　政善

南政善（一九〇八～七六）は能登半島志賀町出身で、生涯一貫して人物を追究し、工夫を凝らした画面構成と豊かな色彩で味わいある人物画を制作しました。本作品は女性の健康的な肌の小麦色と、ドレスの明るい色が効果的に配色されています。

②「母子群像」　田中太郎

木彫や塑造で身近な人々や生命などを表現し続けた七尾市出身の彫刻家・田中太郎（一九一一～九二）の大作です。子どもをしっかりと抱きかかえてどっしりと構える母親からは、子への愛情、母のあたたかさが強く感じられます。

◇観　覧　料

	個　人	団　体
一　般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「冬季・所蔵品展」

12月11日（金）～平成22年1月31日（日）

◇第一展示室

～いろいろな茶道具～

奈良時代に中国より伝えられた「茶」の文化は、鎌倉時代には「禅宗儀礼」としての「寺院の茶」として、室町時代にはバサラ大名らの「闘茶」から始まり「東山文化」における「書院の茶」、そして村田珠光、武野紹鷗を経て、桃山時代に千利休によって「茶の湯」として大成されるなど、時代を経るごとに国内へ確実に浸透していきました。

そして利休以後、あらゆる階層に普及した「茶の湯」は、様々な新しい流派を誕生させながら沢山の人々に愛好されて現在へと至っています。

その「茶の文化」の長い歴史の中で、茶を愛する人々により数多くの道具が見出されました。それらの道具は名品として大切に愛玩される一方で、現在に至る時代ごとに各人の好みに応じた新しい道具も次々と創造され、国内各所には膨大な数の道具が所蔵されています。

茶道具はそれを所持・使用する人の好みが強く反映されるため、道具一種を見ても千差万別です。

本テーマでは「池田コレクション」より、その多種多様な茶道具を紹介します。

「織部草花文角鉢」

「瀬戸黒茶碗」　荒川豊蔵

◇第二展示室

～はたらくひとびと～

「仕事」と一言でいっても数多くの種類がありますが、それぞれの仕事に従事して一生懸命に励んでいる姿というのは見ていてとても気持ちが良いものであり、またそれはある種の美しさをも感じさせてくれます。ひたむきに働く人々の姿に大いなる感銘を受けることもあるでしょう。

従って「働く人々」は芸術家たちにとっても魅力あるテーマであり、昔より色々な作品に様々な「働く人々」が表現されてきました。

その表され方は、汗水流しながら働く労働者の爽やかな姿だったり、その道を極めた職人の威厳ある重厚な姿だったりと、実に多様です。

本テーマでは当館所蔵品より、人々が働いている様子や姿などを表した作品を、絵画や工芸、彫刻などより紹介します。

「四季耕作図屏風」（部分）　狩野岑信

「志野山水人物図中鉢」

「バグサンハン川の舟頭A」田中太郎

◇観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

参加者大募集！

友の会美術講座　志野焼入門

淡雪が降り積もったようにたっぷりと施された釉薬、やわらかな手触りが人気の『志野焼』。三日三晩窯の中を炎と煙で満たし続けて焼きあげることで、予測できない表情が生まれます。

毎回好評の本講座、今回は七尾市在住の陶芸家・澤﨑俊治先生を講師に迎えて『板づくり』で志野焼の花入れ、または湯のみを制作します。（『板づくり』とは、陶土を板状に伸ばして成形する、初心者でも比較的失敗が少ない技法です）自分の感性で『志野焼』を制作してみませんか？

日　時…平成22年1月17日（日）
午後1時30分～　展覧会鑑賞
午後2時～4時　制作

場　所…当館会議室

講　師…澤﨑俊治先生（陶芸家・創造美術会会員）

対　象…当館友の会会員（同伴者1名まで）

参加費…会　員　2，700円
非会員　3，000円
（材料費・焼成費・観覧料込）

定　員…12名（定員に達し次第締切）

持ち物…エプロンまたは汚れても良い上着

内　容…「冬季・所蔵品展」で展示されている『志野焼』の作品などを鑑賞し、その後、陶土をこねて造型します。施釉と焼成は先生にお願いします。
（作品のお渡しは後日になります）

募　集…平成21年10月10日（土）より電話にて申込み受付けをします。

石川県七尾美術館
☎０７６７（53）１５００

どうぞお気軽にご参加下さい！

市民ギャラリー展覧会案内

MOA美術館七尾・中能登児童作品展
入場無料

10月15日（木）～18日（日）
初日は午前9時30分から
最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご鑑賞ください。10月18日10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主　催　(財)エム・オー・エー美術・文化財団
連絡先　MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会
☎0767（53）3914

彩の会　30周年記念展
写団のと　15周年記念展
入場無料

10月23日（金）～25日（日）
最終日は午後4時30分まで

今年で結成30周年を迎える洋画グループ「彩の会」の会員10人と、15周年を迎える写真グループ「写団のと」の会員13人が近作約70点を展示発表します。芸術の秋、ぜひご来場ください。

主　催　七尾市文化協会
連絡先　彩の会代表　加地　求
☎0767（52）1613

平成21年度　七尾市美術展覧会
入場無料

11月1日（日）～3日（火・祝）
最終日は午後4時まで

「日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真」の6部門の公募による美術展です。『伝われ感動』個性あふれる作品をご鑑賞ください。また、今年よりジュニア部門を新設しました。『集え未来のアーティスト』小・中学生の作品をお楽しみください。

入賞者の表彰式は11月3日午後1時30分より美術館アートホールにて行われます。

主　催　七尾美術作家協会（会長　吉田隆）
連絡先　内藤雄鵬☎0767（52）4755
橋本義則☎0767（53）3011

第66回 北國写真展七尾展
入場無料

12月11日（金）～13日（日）
最終日は午後4時30分まで

今年も当写真展を開催出来ることを会員一同喜びに耐えません。多くの人の個性の表現を観賞出来ることに心踊る思いです。観覧者の方々も満足感に浸ることでしょう。数多くの方々をお待ちしております。

主　催　北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社
連絡先　宮崎　功☎0767（57）2845

アートホール催し物案内

doーce　ピアノコンサート
入場無料

11月15日（日）
開演　午後1時30分

年に1度の発表会です。今回、日本の作曲家の曲を多くとり入れてみました。フリーアナウンサーの平見夕紀さんとの「音と言葉の世界」では《つきのよるに》をします。お楽しみにどなたでもご来場ください。

主　催　ピアノグループdoーce
連絡先　井藤真理☎0767（58）1355

第1回　七尾まだら愛好会発表会
入場無料

11月29日（日）
開演　午後1時30分

石川県指定無形民俗文化財、七尾まだらの保存・伝承をし、地域文化の向上を目的として会員の日頃の練習成果を発表します。皆様お誘い合わせご来場ください。

主　催　七尾まだら愛好会
連絡先　事務局　小谷内和夫
☎0767（68）3443

竹本由起子門下生　第9回 ピアノ発表会
入場無料

12月6日（日）
開演　午後1時30分

日頃の練習の成果の発表として、2年に1度催しています。幼児から成人までの門下生がピアノソロ、連弾を演奏します。多くの方に聴いていただければ幸いです。どうぞお気軽にご来場ください。

主　催　竹本由起子門下生
連絡先　竹本由起子
☎0767（52）7172

小丸山保育園 ちびっこ発表会
入場無料

12月12日（土）
開演　午前10時

0歳児クラスから、5歳児クラスまで、みんなが主役の発表会です。歌、合奏、お遊戯、表現あそび等園児たちのかわいい姿を見に来てくださいね。

主催・連絡先　小丸山保育園
☎0767（53）3700

ひまわり保育園 おたのしみ会
入場無料

12月13日（日）
開演　午前9時45分

2歳児から5歳児による楽器演奏や歌、遊戯や劇あそび等の発表を行います。子どもたちの1年間の成長をご覧いただきたいと思います。元気いっぱいに発表いたします。

主催・連絡先　ひまわり保育園
☎0767（57）2800

大谷済美幼稚園　発表会
入場無料

12月19日（土）
開演　午前9時30分

みんなで一緒に創りあげる発表会です。1人ひとりが身体いっぱいを使って表現する歌やお遊戯を通して、園児それぞれの1年間の成長を感じてください。

主催・連絡先　大谷済美幼稚園
☎0767（52）0526

第13回 メロディ音楽会
入場無料

12月20日（日）
開演　午後1時

2年に1度開かれる発表会です。お馴染みのクラシックからポップス、アニメソングまで生徒たちがお気に入りの1曲を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場ください。

主　催　松本由美子門下生
連絡先　松本由美子
☎0767（53）7068

Leafブラスアンサンブル コンサート in 2009 winter
入場無料

12月27日（日）
開演　午後2時

こんにちは!!Leafです。当演奏会では、金管楽器によるアンサンブル、ソロ演奏等により、クラシックからポップスまで、幅広いジャンルでお送りします。今回は加賀地区からもゲスト団体をお迎えし、より盛大にお送りする予定です。皆様のご来場心よりお待ち申し上げます。

主　催　Leaf
連絡先　荒川☎090-3768-5608

「山下清展」関連行事報告

去る８月９日、小中学生対象の貼絵ワークショップが開催されました。大人気で、キャンセル待ちもありましたが、また秋の絵本作りなどに参加してください！

さて、当日は講師の出﨑哲弥先生が楽しく分かりやすく指導してくださって、みんな思い思いの「花火の夜」を貼絵で制作しました。色紙以外にも、新聞やチラシ、切手など身近にある紙で楽しめるので、是非、お家でも挑戦してみてください。

講師のお話に真剣に聞き入る参加者の皆さん

一方、８月23日には山下清の甥である山下浩氏（山下清作品管理事務局）のご厚意により、開館時間前の８時45分から約１時間、申込制のギャラリートークを開催しました。また、同日午後２時からはアートホールにおいて、特別講演会も開催しました。

山下浩氏は、11歳まで清と共に生活しておられたこともあり、お話からはみなさんの知らなかった清の素顔に触れられたり、制作のエピソードなども聞けて、さらに「芸術家・山下清」と「人間・山下清」の魅力を再確認されたのではないでしょうか。

山下浩さんには、お忙しい中で長時間にわたって貴重なお話をしていただき、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

ギャラリートークの様子

等伯ファン必見！
没後４００年【特別展】長谷川等伯

予告チラシ（表）

長谷川等伯は１５３９年に能登国七尾で生まれ、30歳中頃に上洛、代々お抱絵師で画壇の実力者であった狩野派に対抗して長谷川派を築き、桃山時代に活躍しました。その等伯が没したのは、１６１０年の２月24日です。来年２月で没後４００年となり、大々的な回顧展が東京と京都で開催されますので、ご紹介します。

◆東京国立博物館

会　期：平成22年２月23日(火)～３月22日(月・休)
（月曜休館、３月22日は開館）

開館時間：午前９時30分～午後５時
（金曜日は午後８時まで、土日祝日は午後６時まで）

観覧料：当日一般　１，５００円
当日大学生　１，２００円
当日高校生　９００円
※前売り別料金、中学生以下無料

問合せ：０３（５７７７）８６００（ハローダイヤル）

◆京都国立博物館

会　期：平成22年４月10日(土)～５月９日(日)
（月曜休館、５月３日は開館）

開館時間：午前９時30分～午後６時
（金曜日は午後８時まで）

観覧料：当日一般　１，４００円
当日大高生　９００円
当日中小生　５００円
※前売り別料金

問合せ：０７５（５２５）２４７３（テレホンサービス）

★得々情報★（主な両会場全期間展示作品）

◇**国宝「松林図屏風」**（６曲１双／東京国立博物館蔵）
等伯の代表作で、わが国水墨画の最高峰と称され、国宝人気ナンバー１に輝いた。

◇**国宝「楓図」**（壁貼付４面／京都市・智積院蔵）
等伯の代表作で、桃山金碧障壁画の名作。

◇**重文「利休居士像」**（１幅／京都市・表千家不審菴蔵）
等伯の良き理解者であったとされる、千家流茶道の祖・千利休の肖像画。

◇**重文「仏涅槃図」**（１幅／京都市・本法寺）
若くして亡くなった息子・久蔵のために描いた作品で、縦約８ｍの大画面を誇る。

◇**「花鳥図屏風」**（６曲１隻／個人蔵）
最近、「等伯の真筆」として新聞に掲載された話題の作品。

◇**「西王母図」**（１幅／京都市・本隆寺蔵）
近年、新聞紙上で等伯筆の可能性が指摘された興味深い作品。

◇**「善女龍王図」「愛宕権現図」「陳希夷睡図」**
（各１幅／３点共、石川県七尾美術館蔵）

東京、京都会場共、長谷川派の作品は出品されません。そこで当館では、同じ平成22年の春に「長谷川等伯シリーズ展」として、県内の長谷川派作品を中心に展示します。

等伯と長谷川派の全貌を知ることのできる絶好の機会です。是非、足を伸ばして東京・京都へ、そして最後は、やっぱり郷里七尾で締めくくりましょう♪

これからの展覧会予定

◆第１・２展示室

「石川ゆかりの作品展」

～人・街・自然の風景を楽しむ～／～明治から昭和の加賀・能登の画人たち～

平成22年2月6日（土）～4月18日（日）

第１展示室では、「人」「街」「自然」の３つのテーマで、日本画・洋画・彫刻作品約25点を紹介します。第２展示室では、明治・大正・昭和に活躍した加賀・能登ゆかりの画人たちと作品を紹介します。加賀藩お抱え絵師から、院展、日展などで活躍した昭和の画家たちまでをご覧ください。

写真：「白い印象」中村静勇

春爛漫の京都を満喫♪

『第11回友の会鑑賞の旅』の参加者を募集します！

『長谷川等伯』展と『京都御所』の旅 ～京懐石の昼食付～

旅行日：平成22年４月17日(土)

毎年開催「友の会鑑賞の旅」の特別編として、等伯没後400年を記念して京都国立博物館で開催される『長谷川等伯』展鑑賞と『京都御所』(※)の見学を予定しています。

国宝「松林図屏風」、国宝「楓図」、国指定重要文化財「波濤図」などの名品が一堂に展示される『史上最大規模の大回顧展』です。『京都御所』では参観ツアー（解説付）に参加します。【定員25名・日帰り貸切バス・予定参加費12,000 ～ 14,000円】

※『京都御所』参観については３ヵ月前に申し込みが必要ですので、受付期間は下記のとおりとなります。また、御所参観については抽選制となっている関係上、抽選もれの場合は、見学場所を変更させていただきますのでご了承ください。

記

◆受付期間：平成21年10月20日(火) ～ 12月20日(日)
◆電話にてお申し込みください。【申し込み先着順】
◆予定参加費内訳【旅費11,000円＋平成22年度会費（友の会1,000円または等伯会3,000円）】

◇見学コース（御所参観抽選結果）等は、平成22年2月初旬にハガキでお知らせします◇

当館所蔵「善女龍王図」も展示されます。

割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約１時間15分
タクシー…JR七尾駅から約５分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号
…JR七尾駅前「ミナ．クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
ななおコミュニティバスぐるっと7
…JR七尾駅５番乗り場から西コース「小丸山台１丁目」下車

休館日のお知らせ

（10月～12月）

◆10月　1、5、13、19、26～31
◆11月　4、5
◆12月　7～10、14、21、24
◆年末年始　12/28～1/4

◎次号・第60号（冬号）は１月１日発行予定です。

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台１丁目１番地
TEL(0767)53-1500 ／ FAX(0767)53-6262
http://www.city.nanao.lg.jp/nanabi/